こんな活動です

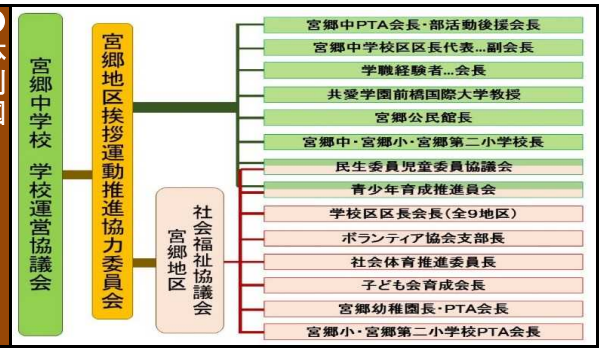
地域ぐるみで子どもたちを育てるネットワークづくり
ー学校・家庭・地域が三位一体となって取り組む挨拶運動の実践からー

群馬県伊勢崎市	●活動名	●関係する学校名
	宮郷中学校学校運営協議会・宮郷地区挨拶運動推進協力委員会	伊勢崎市立宮郷中学校 伊勢崎市立宮郷小学校 伊勢崎市立宮郷第二小学校 伊勢崎市立宮郷幼稚園

協働活動開始年度	平成 29 年度	関係学校数	4 校	のべ学級数	87 学級	のべ児童・生徒数	2357 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	ー				
	ー	ー					
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数				
	2人		26人				
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無		
	平成28年4月1日指定		172人				
参考URL	http://www.isesaki-school.ed.jp/miyagouchu/						

●連絡先 伊勢崎市教育委員会生涯学習課 ☎ 0270-27-2794

●体制図



●活動の概要・経緯

・伊勢崎市立宮郷中学校は，平成28年度にコミュニティ・スクールの指定を受け，平成30年度には，伊勢崎市のコミュニティ・スクール全11校の推進モデル校として指定された。以後，宮郷中学校学校運営協議会（以下，学校運営協議会と記す）を中核としながら，宮郷地区全体の子供たちの健全育成を目指した運営を行い，地域の子供たちのよりよい成長を願い，地域の小学校・幼稚園と連携しながら，家庭や地域社会との協働活動で地域の教育の活性化に努めている。
・宮郷地区挨拶運動推進協力委員会（以下，本委員会と記す）は，平成29年2月に開催した学校運営協議会にて，協働する活動のテーマを決めて取り組んでいく方針が決議され，同年6月の学校運営協議会において，挨拶運動をテーマにして，宮郷中学校区の学校園と家庭，地域が一体となって連携・協働していくことが決議された。その後，宮郷地区区長会及び宮郷地区社会福祉協議会，宮郷小学校・宮郷第二小学校の学校評議委員会等との協議を重ね，平成29年12月に，本委員会を学校運営協議会の下部組織として立ち上げ，第1回目の活動が平成30年2月16日にスタートした。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】
①本委員会は学校運営協議会と宮郷地区社会福祉協議会の委員で構成された学校・家庭・地域が三位一体となった組織。
②宮郷地区の小中学校で取り組んでいる挨拶運動を地域に広げる形で実施。
③毎月16日を「挨拶運動の日」と定め，各町区の拠点・活動時間を決めて計画的に実施。
④挨拶運動は(1)未来を担う子供たちを育てる(2)宮郷地区内のコミュニケーションの向上を図る(3)犯罪・いじめを防止するの3つを目的とする活動であり，運動を通して地域の活性化も図っている。子供と大人が共に取り組む地域課題解決への取組としている。
⑤本委員会（会議）は年間3回（6月・10月・2月），現状の把握と課題等を共有した上でさらなる充実に向け，公民館で開催。

【実施に当たっての工夫】
・宮郷地区は9つの町区からなり，各町区毎に2カ所の拠点を決めて挨拶運動に取り組んでいる。学校園を含めると全体で22カ所の拠点で挨拶運動を実施している。拠点に来られない住民には，自宅前で声掛けを行うよう依頼している。
・宮郷中学校の美術部の生徒が啓発ポスターを作成し，各学校園をはじめ，各町区に配布し，掲示して周知を図っている。
・子供たちが挨拶運動に関する標語を作成し，回覧板で全家庭に回覧している。
・挨拶運動のための幟旗を宮郷地区社会福祉協議会で50本作成し，各拠点に立てて挨拶運動を盛り上げている。
・年間3回，町内回覧板にて実施予定日を知らせたり，実施風景写真を掲載したりしている。
・本活動の事務局を宮郷中学校学校運営協議会副会長及び公民館長が務め，活動の計画や会議の運営，広報・周知を担っている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

・学校運営協議会委員及び宮郷地区の区長，民生委員，青少年育成推進員，宮郷幼稚園・宮郷小学校・宮郷第二小学校の学校評議員会の代表等により組織される推進体制により，宮郷地区全体で子供たちを健全に育てていこうとする気運が高まってきている。
・地域ぐるみの挨拶運動が回覧板等を通して地域に広く周知され，継続的に取り組むことができている。
・宮郷地区の大人から子供までが一体となった「オール宮郷」として，コミュニケーション力の向上に向けて取り組むことができている。
・子供たちが安全・安心に登校できるようになり，「地域の方々に見守られている」という意識が子供たちの中に芽生えている。
・子供たちの挨拶に対する意識も高まっており，学校評価では「よくできている」と答えた生徒が約95％であった。
・本委員会が学校中心ではなく，地域住民を中心とした組織となり，主体的に運営されていることは2年間の取組の大きな成果である。この取組によって地域ぐるみで子供を育てていくネットワークが構築できており，今後は，公民館で実施している放課後子供教室など，挨拶や登下校の見守り以外にも活動を広げ，地域で行われている様々な地域学校協働活動を効果的につなげて実施していく。

● その他

挨拶運動によって構築されたネットワークを基に，今後も宮郷地区の子供たちの健全育成のため，学校・家庭・地域が三位一体となって取り組むよりよい活動を本委員会のメンバーとともに考えていきたい。

地域主体の運営・進行で行われている本委員会の様子

幟旗を掲げて、各拠点で取り組んでいる挨拶運動の様子